

屋外広告物の安全点検に関する指針（案）

平成 29 年 7 月

国土交通省 都市局 公園緑地・景観課

目 次

1. はじめに.....	1
2. 主な屋外広告物の種類と劣化等が起こりやすい箇所.....	2
(1) 突出看板.....	2
(2) 建植看板・アーチ看板.....	7
(3) 壁面看板.....	12
3. 許可更新の際の安全点検報告書の提出等	16
(1) 点検箇所・点検項目	16
(2) 安全点検報告書による確認のための留意事項.....	21
(3) 所有者等における定期的な点検の実施	21
4. 地方公共団体が安全パトロール等を行う場合の現地確認方法.....	25
(1) 望ましい確認箇所と確認方法.....	25
①突出看板	26
②建植看板・アーチ看板.....	28
③壁面看板	30
(2) 専門業者への現地確認調査の委託.....	32
(3) 異常を確認した場合の対応.....	32
5. 地方公共団体の安全対策に係る取組事例	33
6. 用語の解説.....	38

3. 許可更新の際の安全点検報告書の提出等

屋外広告物条例を制定している地方公共団体では、屋外広告物の所有者等が更新許可申請を行う際に、安全点検報告書の添付を求めている場合が多いが、地方公共団体によって、安全点検報告書の様式に記載している点検項目・点検内容が様々である。

特に、安全点検報告書の点検項目・点検内容を6項目又は7項目しか設定していない地方公共団体が大半である。(23、24 ページの資料1、2を参照)

そこで、より一層、安全性の確保を図る観点から、安全点検報告書の点検項目・点検内容を細分化し実効性を高める必要があるため、前述の劣化等が起こりやすい箇所を踏まえ、点検箇所・点検項目等を以下に示す。

(1) 点検箇所・点検項目

〈点検箇所〉基礎部・上部構造

〈点検項目〉

- ・ 上部構造全体の傾斜、ぐらつき



上部構造全体が傾斜した状態



上部構造全体が傾斜した状態

- ・ 基礎のクラック、支柱と根巻きとの隙間、支柱ぐらつき



基礎にクラックが入った状態



根巻きと支柱との隙間があり、さびが進行した状態

- ・ 鉄骨のさび発生、塗装の老朽化



支柱、ベースプレート、アンカー共にさびが顕著な状態



支柱根元の腐食が進行した状態

〈点検箇所〉 支持部

〈点検項目〉

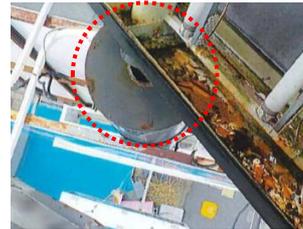
- ・ 鉄骨接合部（溶接部・プレート）の腐食、変形、隙間



鉄骨接合部（溶接部）が腐食している状態



（左図拡大）



鉄骨接合部（プレート）が破損している状態



（左図拡大）

- ・ 鉄骨接合部（ボルト、ナット、ビス）のゆるみ、欠落



ボルトのゆるみや欠落した状態



（左図拡大）

〈点検箇所〉 取付部

〈点検項目〉

- ・ アンカーボルト・取付部プレートの腐食、変形



所定の場所にアンカーボルトがない状態



取付部プレートが腐食している状態

- ・溶接部の劣化、コーキングの劣化等



取付部の溶接部が劣化している状態



コーキングが劣化した状態

- ・取付対象部（柱・壁・スラブ）・取付部周辺の異常



壁面にひびが生じた状態



壁面との間に隙間が生じた状態

〈点検箇所〉 広告板

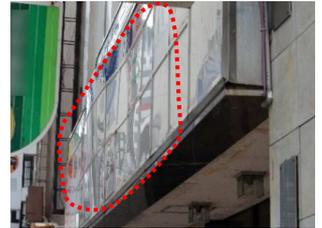
〈点検項目〉

- ・表示面板・切り文字（※）等の腐食、破損、変形、ビス等の欠落

※ シート、金属板、プラスチック板などを切り抜いて作った文字等。



表示面の継ぎ目からさびが垂れた状態



表示面板が変形（たわみ）した状態

- ・側板、表示面板押さえの腐食、破損、ねじれ、変形、欠損



表示面板押さえのさびが進行した状態



（左図拡大）

- ・ 広告板底部の腐食、水抜き孔の詰まり



広告板底部の腐食が進行した状態



(左図拡大)



水抜き孔が詰まった状態



(左図拡大)

〈点検箇所〉 照明装置

〈点検項目〉

- ・ 照明装置の不点灯、不発光 (※)

※ 電球がつかない状態を不点灯、蛍光灯やネオンがつかない状態を不発光という。



ランプ球の一部が不点灯の状態



ネオンの一部が不発光の状態

- ・ 照明装置の取付部の破損、変形、さび、漏水



ソケットが垂れ下がった状態



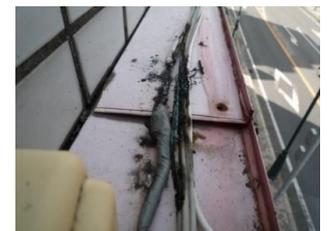
ソケットが垂れ下がった状態

- ・ 周辺機器 (※) の劣化、破損

※ 分電盤、配線、変圧器 (トランス)、スイッチ等。



変圧器 (トランス) のさびが進行した状態



配線が劣化し、ショートした状態

〈点検箇所〉その他

〈点検項目〉

- ・ 付属部材（※）の腐食、破損

※ 装飾、振れ止め棒、鳥よけ、
その他付属品。



振れ止め棒が変形した状態



(左図拡大)



幕材を張る部材が破損した
状態



(左図拡大)

- ・ 避雷針の腐食・損傷

(2) 安全点検報告書による確認のための留意事項

- (1) を踏まえ、安全点検報告書の様式(案)を22ページに示している。
また、安全点検報告書の様式に、点検者の氏名・住所・電話番号・資格名称を記載する欄(項目)を設けるとともに、点検者の資格を証する書面の写しを添付させることにより、地方公共団体が屋外広告物条例施行規則等で定める点検者の資格要件を満たしていることを確認すること。
- 点検方法については、原則として、目視、打診等により、損傷、変形、腐食等の異常の有無を確認させること。
- 安全点検報告書には、屋外広告物の全景写真を添付させること。
また、必要に応じて、点検箇所・点検項目の状態が把握できるカラー写真や補修等を行った箇所の補修前後のカラー写真を提出させること。
- 安全点検報告書及び添付書類だけでは、安全性を確認することが困難な場合は、屋外広告物の所有者等に対して安全性について確認を行うとともに、必要に応じて、現地確認を行うこと。

(3) 所有者等における定期的な点検の実施

- 地方公共団体が屋外広告物の許可更新時に、所有者等に求めている安全点検とは別に、所有者等に実効性のある点検を年1回程度実施させることが望ましい。

(参考) 前記(1)、(2)、(3)を反映した安全点検報告書の様式(案)

屋外広告物安全点検報告書(案)

年 月 日

(あて先) ○○市長

報告者 住所 _____
氏名 _____ 印 _____
電話番号 _____

(法人にあつては、主たる事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)

屋外広告物の点検結果を下記のとおり報告します。

広告物等の種類	屋上看板・壁面看板・突出看板・建植看板・その他		
設置場所	○○市 区 町 丁目 番 号		
設置年月日	年 月 日	点検年月日	年 月 日
点検者(管理者)	氏名		
	住所		
	電話番号		
	資格名称		
点検箇所	点検項目	異常の有・無	改善の概要
上部構造 基礎部・	1 上部構造全体の傾斜、ぐらつき	有 無	
	2 基礎のクラック、支柱と根巻きとの隙間、支柱ぐらつき	有 無	
	3 鉄骨のさび発生、塗装の老朽化	有 無	
支持部	1 鉄骨接合部(溶接部・プレート)の腐食、変形、隙間	有 無	
	2 鉄骨接合部(ボルト、ナット、ビス)のゆるみ、欠落	有 無	
取付部	1 アンカーボルト・取付部プレートの腐食、変形	有 無	
	2 溶接部の劣化、コーキングの劣化等	有 無	
	3 取付対象部(柱・壁・スラブ)・取付部周辺の異常	有 無	
広告板	1 表示面板・切り文字等の腐食、破損、変形、ビス等の欠落	有 無	
	2 側板、表示面板押さえの腐食、破損、ねじれ、変形、欠損	有 無	
	3 広告板底部の腐食、水抜き孔の詰まり	有 無	
照明装置	1 照明装置の不点灯、不発光	有 無	
	2 照明装置の取付部の破損、変形、さび、漏水	有 無	
	3 周辺機器の劣化、破損	有 無	
その他	1 付属部材(※)の腐食、破損	有 無	
	2 避雷針の腐食、損傷	有 無	
	3 その他点検した事項()	有 無	

※ 装飾、振れ止め棒、鳥よけ、その他付属品

注) 広告物等の種類により、該当する点検箇所・点検項目がない場合は、「改善の概要」の欄に斜線を引くこと。